

## 釣り中の海中転落事故に気を付けましょう！

釣りが盛んな時期になりました。

先日、磯場での釣り中に高波に巻き込まれ海中転落する事故が発生しました。

波が岩場を洗うような場合は、釣りを控えるなど事故防止のための対応をよろしく願います。

泊盃の事故現場付近の写真



また釣り中の事故の多くは、岸壁や防波堤で発生しています。

防波堤については、立入禁止の場所が多く、そのような場所については、転落防止措置がとられていないことから、非常に危険です。また、足元の突起物やくぼみに気が付かず、誤って海中転落してしまう事故が増えています。

そこで、釣りをする際には、以下のことに注意しながら楽しみましょう。

◇まずは海中転落をしないように！

- ① 夜間時には照明器具を装備する
- ② ながら電話やながらスマホはしない

◇ライフジャケットを着用しましょう！

万が一、海中転落してしまった際にライフジャケットがあるのと、ないのとでは生存率が大きく違います。

◇あらかじめ気象情報を入手しましょう！

荒天時に釣りをしてしますと、海中転落する可能性が高くなり非常に危険です。

◇連絡手段の確保！

海中転落してしまった際、防水加工をした携帯電話（防水型携帯電話、防水パック）を持っていれば、海上保安庁の緊急ダイヤル 118 番や消防・警察に連絡することが可能です。

また、携帯電話の GPS 機能を ON にして 118 番通報をすると、通報位置が海上保安庁に伝わり、迅速な救助が可能です。

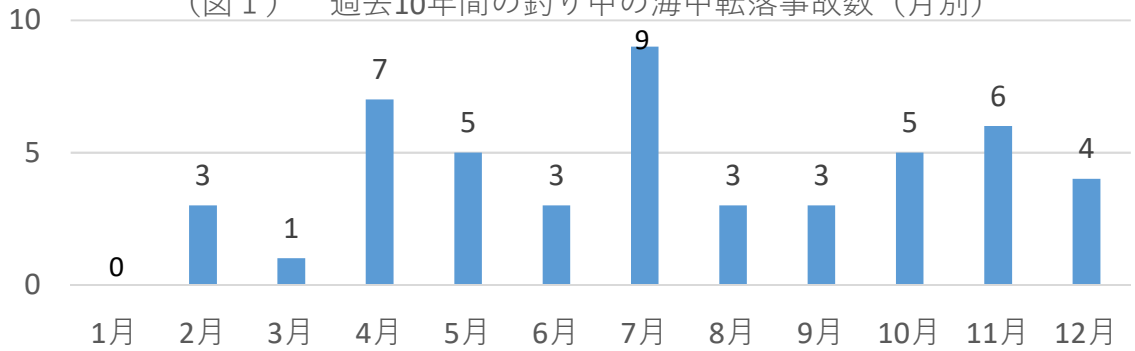
なお、釣り中の過去 10 年間の事故統計は次のページのとおりです。

# ○釣り中の海中転落事故

## 1 事故発生状況

過去10年間（平成22年～令和元年）に、釣中に海中転落した人は49人（内、死亡・行方不明者17人）おられます。（図1参照）

(ハ) (図1) 過去10年間の釣り中の海中転落事故数（月別）

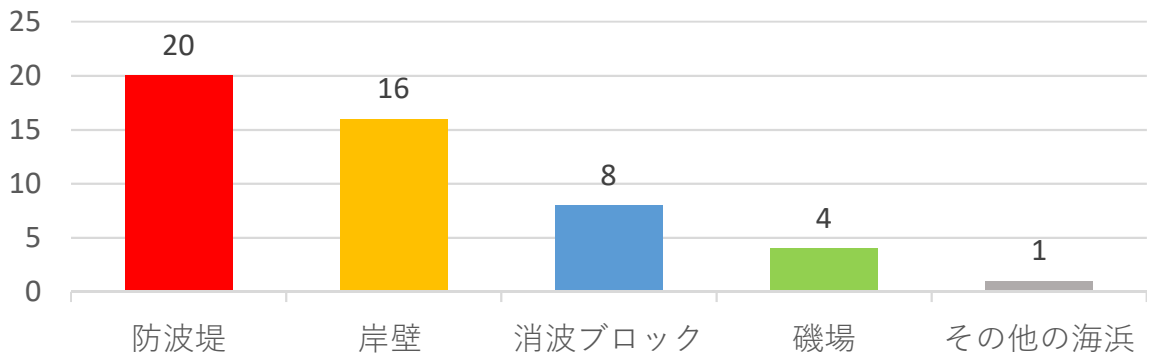


## 2 発生場所別状況

過去10年間（平成22年～令和元年）に釣中に海中転落した場所は防波堤が20人と最も多く、次いで岸壁16人、消波ブロック8人、磯場4人、その他の海浜1人となっており、防波堤や岸壁上からの転落事故が多く発生しています。

(図2参照)

(ハ) (図2) 事故発生場所別状況

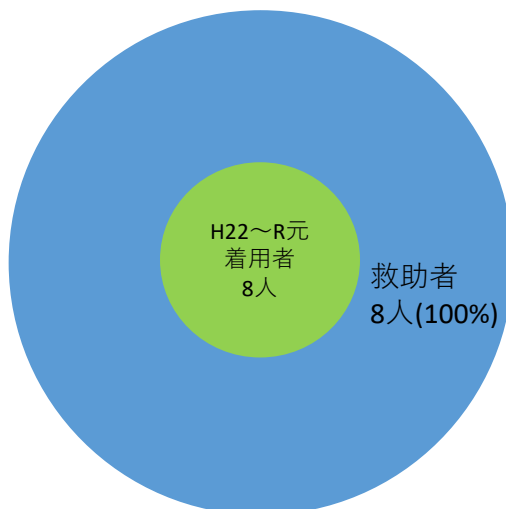


## 3 救命胴衣の着用率

過去10年間（平成22年～令和元年）に釣中に海中転落した人49人の内、救命胴衣非着用者の救助割合は58%ですが、救命胴衣着用者の救助の割合は100%まで上昇しています。

(図3, 4参照)

(図3) 救助者の着用状況



(図4) 救助者の着用状況

